



## さやま環境市民ネットワークが NPO法人に衣替えします —— 環境まちづくりを目指して ——

かねてより懸案となっていたNPO法人化に向けて新たなスタートを切りました。

5月12日に開催された第4回定例総会で18年度の活動、会計報告等が、また引き続いて行なわれたNPO法人設立総会では、その設立が賛成多数で承認されました。この結果を受けて「NPO法人さやま環境市民ネットワーク」としての設立認証申請書を県に提出いたしました。9月初めには申請書が審査受理されNPO法人として衣替えされる予定です。

法人としての目的は「主に狹山市の市民・市民団体・事業者・行政が協働し、環境まちづくりを推進することにより、将来にわたり持続可能な循環型社会の構築に寄与すること」にあります。

### NPO法人化の利点

NPO法人化による利点や制約などは色々ありますが、その利点は、上記の目的を達成するため、契約の締結や財産の所有等が団体名で行え、情報公開されるため社会的信用が高まり、業務委託や助成金が受けやすくなること等です。

法人化後の主な事業は、・狹山ケーブルテレビを通しての環境PR番組の放映 ・さやま環境ウォーク2007の開催 ・英語を生かした環境

カルタの作成 ・NPO法人設立記念イベントの開催 ・緑の分科会、川分科会、温暖化対策分科会、ごみ減量分科会の各分科会活動推進などです。

### 新しい会員を募集しています

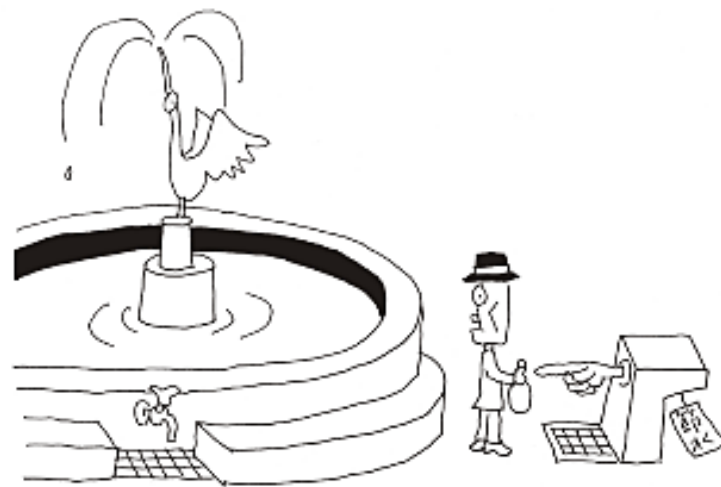
法人化移行決定に伴い、さやま環境市民ネットワークでは新会員（正会員及び賛助会員）を募集しています。

環境にやさしいまち・暮らしの実現のため「環境まちづくり」の推進に、少しでも多くの方に関わって頂きたいと思っています。この趣旨に賛同され、入会を希望される方は、下記にお問い合わせください。

また、これまで会員であった方で、19年度への手続きをお済みでない方は、早めに手続きをして下さるようお願いいたします。

●お問合せ先 さやま環境市民ネットワーク事務局  
(狹山市環境政策課内)  
Tel. 04-2953-1111 Fax. 04-2954-6262

●会費＝正会員（個人¥3,000、非営利団体¥5,000、  
企業団体¥10,000）  
賛助会員（個人¥1,000、非営利団体¥3,000、  
企業団体¥5,000）



環境くん

石川しげひさ

## 各分科会の活動報告

### 緑の環境を守り育て、自然豊かな街づくりを目指して

「東急入間川まちの緑を守り育てる会」は、平成15年5月に設立されました。それ以前には約10年

間「緑化委員会」として小規模に活動を続けていましたが、組織を発展的に解消し、再出発したも



貝殻公園の花壇の整備をする会員達

のです。目的は、私たちの住むまちとその周辺の緑の環境を自らの手で守り育て、自然豊かな街づくりを目指すことです。

現在、会員数30名で、定期的に多様な活動を展開しています。年間活動費は市や自治会の補助を含め約30万円ですが、自分たちで育てた草花苗のバザーなどで活動費の補填もしています。ただ、花の苗や肥料、機材などを購入するには資金不足で、十分な活動が出来ないことが悩みです。

昨年度の主な活動は、・区内にある公園、広場などの公共スペース、及び中央通りの街路樹下の植樹帯などの花壇の土作り、花や樹木の植え付け、手入れなど ・子供会との共同によるカブト虫の育成、シタケ栽培、芋ほり、焼き芋会の実施 ・市立東中学校3年生の総合学習における地域のボランティア緑化活動指導 ・資源循環の一環として、市との協働で公園や家庭から出る剪定枝や刈草の回収と堆肥化に寄与（年2回）。

こうした地道な活動で徐々に成果を上げてきましたが、今後の課題は、自然豊かな街づくりのためには、するべきことは山ほどあり、それを実現するための資金と会員の不足をどう補うかにあります。

（東急入間川まちの緑を守り育てる会 伊藤勝彦）



街路樹の下の植樹帯の手入れをする東中生徒

### 温暖化防止活動PRデモ

急速に地球温暖化が進んでいます。日本政府はサミットで、2050年に二酸化炭素排出量を現在に対し50%削減を目標とするよう世界に働きかけ、合意されました。温暖化問題は将来への危惧ではなく、今や現実の問題となりつつあります。

温暖化対策分科会としても、関心ある市民に対してだけでなく、一般市民にどうしたら関心を持っていただけるかを考



楽しいミニソーラーカー

えねばなりません。

温暖化対策分科会では、昨年度から「温暖化防止活動PRデモ」の取り組みを始めました。これは、イベントを開催して人を集めるだけでなく、人の集まるイベントの一角を借り、そこで温暖化対策のPRをしようという試みです。

昨年度に引き続き、4月29日の「狭山新茶と花いっぱい祭り」と5月26日の「リサイクルマーケット」に出店しました。ここでは太陽エネルギーの威力を見ていただくための「ミニソーラーカー」「ソーラークッカー（調理器）」「太陽光発電

の展示実演で市民を集め、集まった人達に説明用パネル、クイズ、パンフレット等で温暖化の現状と予測についての説明を行いました。

「ミニソーラーカー」には多くの子どもたちが親を連れて集まってきました。「ソーラークッカー」では、ゆ

で卵、焼き芋、ポップコーン等の調理実演を行い、出来あがった食品の試食におばさん達が群がりました。これらの人達をクイズに誘い、説明パネルを見てもらい、



焼き芋もできるソーラークッカー

温暖化の実情を理解してもらいました。

今回の二つのイベントはともに好天に恵まれ、太陽エネルギーの威力を十分に発揮することができました。その結果、どちらも200人を超える市民が我々のコーナーを訪れてくれました。

今後とも一般市民の関心を高めるための活動を進めてまいります。（児玉 靖）

## ごみ減量分科会活動報告

ごみ減量分科会は、毎月第2土曜日午後1時半から中央公民館で例会を行っています。参加者は毎回10人から20人で、ごみを如何に減らすか、具体的なごみ減量の方法なども話し合い、一人ひとりが周りの人にごみ減量を呼びかけるとともに、市の行事への協力、及び現状と未来への提言をしています。皆さんもいっしょに話し合いましょう。参加をお待ちしています。

ごみを減らすために…現状や今後の見通しを知る⇒自ら行動する⇒周辺の人に広めていく。

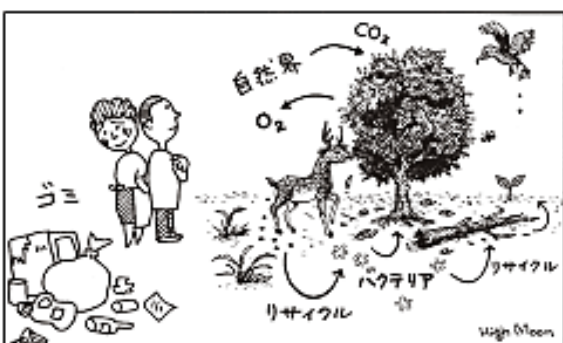
- ◆5月17日(木) 集団回収説明会で「環境とごみ減量」についての講演。
- ◆5月26日(土) リサイクルマーケットさやま(上奥富運動公園9:00~13:00)に合わせて、ごみ減量啓蒙のPR。「ごみクイズに挑戦しませんか」の資料を渡しパネルを展示。
- ◆6月1日(金)~6月15日(金・午前中) 狭山市の環境活動のPR(環境月間行事)として、市役所エントランスホールにて、ごみ減量関係の資料を展示。

毎日出る大量に水を含んだ「茶がら」を簡単に乾かせ、使いやすく長持ちする「茶切り美人」を紹介し、サラッとした感触の生地で、使い心地は抜群です。手で絞って4割、それを一日干すと7割の水切りができます。ごみ減量仲間

## 川分科会

6月4日(月)晴天のもと、入間川東小学校4年生の100名と保護者のサポーター16名が、入間川昭代橋下流で3分野(水質調査、野鳥観察、植物調査)の実習と草花遊びを行いました。季節的に野鳥も多く草花の種類も豊富で、子供達は時間を忘れるくらい熱心に楽しみました。毎回、最後にゴミ拾いで終了します。

今年で3年目ですが、総合的学習時間の午前9時~正午、年4回の川辺での実習、屋内における



元京科大学教授高月たかしハイ・ムーンさんのゴミック「廃棄物」第2集より。

実験して「これは良い、多くの家庭に広めよう」となりました。使い捨てではありません。

(鶴ヶ島市樋口やす子さん考案一つ100円 ご希望の方は吉村まで)

「もったいない!？」入間川七夕で1回しか使わないのに、大量に出る大きな厚いプラスチックの容器など、これがゴミとして捨てられる。今年は分別して資源にすることになりました。それにしても、こんな無駄なものは使わないようにできないものかと、関係者に申し入れることにしました。8月4日・5日の七夕当日は市民ボランティアとして参加し、分別のPRをします。

(吉村七郎)

テーマ別発表会などを実施しています。会員の皆様も是非一緒に参加してサポートして頂ければうれしいのですが。

世界の環境学者の会議でも、子供達の環境教育がいかに大切かを常に議論しており、「未来は次世代に頼るしかない」とまで言っています。我々さや環ネットもその一端を担う者として、各分科会とも一体となって、本格的な活動を始めなければと感じています。(鈴木英有)

## ★自然に優しい暮らし、創めませんか

私たちは科学の進歩による技術革新によって、大量生産・大量消費の便利な生活環境を享受しています。この便利な生活環境は、生命を育む自然環境に悪い影響を与えながら築かれてきています。自らの生活を見つめなおし、傷ついた自然を修復していくことが急がれています。

「お金を物を重視していく価値観から、環境や生命の重視へ」、「比較・競争の価値観から、共存・共生・調和・循環へ」、環境に負担をかけない暮らし方をしていくために何が出来るかを考えて、出来るところから行動していくことを創めましょう。今よりも不便で不自由な生活の中から暮らしの知恵を育てていくことで、自然と緑に優しい豊かな心を育てることができたなら、傷ついた地球が救われるような思いがします。(大阿久芳胤)

### ★★★★★ 「びん再使用ネットワーク」 環境大臣賞最優秀賞受賞

生活クラブは、「使い捨てにしない空きびん(Rびん)の再使用」をを実践して、ごみやCO<sub>2</sub>の削減に大きな成果をあげています。

こうした実践をしている生協6団体で構成する「びん再使用ネットワーク」が、平成18年度容器包装3R推進環境大臣賞[地域の連携協働部門]の最優秀賞を受賞しました。

シリーズ「事業者環境活動紹介」★5 株式会社 DNP テクノパック

モノづくり企業の責務として  
循環型社会の実現に向け責任を持って対応します。

6月8日、広瀬台にある(株)DNPテクノパック(DNP大日本印刷の製造子会社)を訪問。来客用駐車場を見て、この会社の環境に取り組んでいる姿に好印象を持った。駐車スペースの各車の間には木が植えられ、緑豊かな駐車場になっている。

当日は、坂田工場長および総務部の赤石氏が、私達3名を暖かく迎えてくれた。

DNPは明治9年の創業で、昔は紙幣の印刷も行っていたそう。現在は書籍や包装材など従来印刷物、カラーフィルターやフォトマスクなどのエレクトロニクス製品、デジタル情報技術を創造する企業である。DNPテクノパック狭山工場は、主に食品・医薬品の包装材を製造している。

インキは環境に負荷を与えやすいが、そうした中でDNPグループの環境基本方針は明確である。



総務部赤石氏(左) 坂田工場長(右)

「限られた地球資源の中で持続的に経済社会を発展させ、循環型社会を形成していく為に、環境法規の遵守はもとより、あらゆる事業活動において環境とのかかわりを認識し、環境負荷を低減する」と語られている。

埼玉県は溶剤の大気放出規制が大変厳しいが、DNPテクノパックはいち早く規制値をクリアするだけでなく、廃棄物の埋立処分をゼロにする、いわゆる「ゼロエミッション」を達成

している。あるべき姿のために必要なコストをかけ環境負荷を低減する事は、結果として企業利益につながるかと考えている。そのため、生分解プラスチックの製品化や、溶剤インキから水性インキへのアプローチなど積極的に取り組んでいる。

最後に、さや環に望むことは?の質問に「せっかくのホームページは、こまめに更新して、さや環の活動を幅広く知ってもらい、市民をどこまで巻き込むかではないでしょうか」との貴重なお話をうかがう事が出来た。

(編集委員 小川)

イベント情報

環境講演会「地球温暖化の予測・影響とその対策」

- 日時場所：7月21日(土) 午後1時30分～4時30分 中央公民館
- 講師：土淵 昭(さやま環境市民ネットワーク) 飯田 芳男(NPO法人くぬぎグリーンネット)
- 主催：さやま環境市民ネットワーク&NPO法人くぬぎグリーンネット
- 問合せ先：さやま環境市民ネットワーク事務局(下記)又は NPO法人くぬぎグリーンネット事務局 電話2959-6940

環境講座 「コミュニティガーデンで街の再生を！」

コミュニティガーデンで街はどう変わるかについての講演と意見交換会

- 日時場所：8月25日(土) 午後1時30分～4時 広瀬公民館 ホール
- 講師：NPO法人グリーンオフィスさやま 代表理事 毛塚 宏
- 主催：さやま環境市民ネットワーク&狭山市広瀬公民館 ●参加費：¥500
- 問合せ先：さやま環境市民ネットワーク事務局(下記)又は 広瀬公民館 電話2953-6500

さやま子ども環境カルタ募集

子どもたちのアイデアあふれた作品(読み札)を募集しています。ひとり何点でも受け付けます。優れた読み札には、絵と英訳がつき、英語でも楽しめる環境カルタになります。

- 対象：狭山市内の小学4～6年生および中学生
- 募集期間：7月15日～8月26日
- 優秀作品「読み札」46枚を選び、表彰状とカルタ一式をさしあげます。
- 作品には住所、氏名、性別、電話番号、学校名と学年を記載の上、「さやま環境市民ネットワーク事務局」(下記)へFax、Eメール、又はハガキで応募下さい。



平成18年度に「狭山市みどりの基金」に寄せられた寄付・募金の合計は、¥3,467,079(内、約¥1,800,000は緑の家庭募金から)平成19年度には、6月21日現在¥267,037の寄付金が集まっております。どうもありがとうございます。

市内在住・在学・在勤の個人、市内で活動されている民間団体や事業者であれば入会する事が出来ます。皆さまのご入会をお待ちしております。

会員募集

会員数=平成19年6月30日現在(総数195会員) =個人 181名 / 団体 24団体/事業者 10事業者  
さやま環境市民ネットワーク事務局(狭山市環境部環境政策課内)

Tel. 04-2953-1111 内線=3671・3672 Fax. 04-2954-6262  
E-mail=kankyo@city.sayama.saitama.jp  
ホームページ=http://kankyosimin-net.sakura.ne.jp/mysite25/